



「性と健康を考える女性専門家の会」勉強会

## 卵子凍結の現状と未来

香川則子（リプロセルフバンク所長）

日時：2014年7月26日（土）18時～20時

場所：朝日エル会議室 東京都中央区築地2-12-10 築地MFビル26号館5階

参加費： 会員700円 非会員1,200円 学生500円

参加申し込み：お名前、ご所属、会員／非会員ご連絡先を明記の上

「性と健康を考える女性専門家の会」事務局までメールでお申込ください。

[pwcsh@ellesnet.co.jp](mailto:pwcsh@ellesnet.co.jp)

---

ガラス化法の開発により、受精卵ではなく卵子単体で凍結保存ができるようになったことは、女性の生殖年齢の考え方に変革をもたらした。特に白血病など抗ガン剤で命はとりとめるものの生殖能を失う可能性のある疾患に対して、治療開始前に卵子保存ができることがどれほど女性の心身のQOLを上げたことだろう。その利用は疾患のない女性にも広がっているが、まだ正確な知識を持たないまま自分の立ち位置を危うくしている女性も多いのではないだろうか。

今回は世界でもその最先端に行く「若き」「女性」「博士」の香川則子さんにお話を伺います。ジェンダー差別も吹っ飛ばす科学的なお話です。是非多数ご参加ください。

### 講師プロフィール：

京都大学で博士号を取得。世界最大の不妊治療専門施設の附属研究所で主任研究員として7年間の生殖補助医療の研究キャリアを積む。

卵子、卵巣組織の凍結保存技術開発や臓器移植技術開発など不妊症患者やがん患者を救う数々の世界初の研究成果を生み出しながら臨床応用を実現。一方、海外での臨床試験や絶滅危惧種保護プロジェクトなどのユニークな国際研究の経験もある。

生涯を通して自分らしく、健康に働き続けたい女性のための「ウミドキ」をサポートする生殖補助医療技術を普及させるべく、2012年にリプロサポートメディカルリサーチセンター附属リプロセルフバンク所長に就任。

研究者、教育者として大学にも席を置きつつ、後輩研究者の育成と共に「がん患者の卵巣保存プロジェクト」など国内外の臨床研究にも積極的に参加。

科学者として医学や医術をわかりやすく翻訳し、広く中高生やキャリアウーマン、更年期女性の健康や美容の維持、改善を促し、女性が自分らしい人生を自ら選び、決断し、例え人生の一大事を迎えても後悔せずに前向きに歩んでいけるよう啓蒙活動を展開する。

哺乳類の生殖補助技術開発研究12年のキャリアと国内外の共同研究先との世界最高水準のネットワークを活かし、女性の人生創りを複合的にサポートすることを目指している。